



「2030年度燃費基準達成車」  
e:HEV



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車  
e:HEV



「平成30年排出ガス基準50%低減レベル」認定車  
ガソリン車

車両型式		6AA-FL4	5BA-FL1		
基礎情報	原動機	型式 LFC-H4 L15C			
		総排気量(L) 1.993 1.496			
	駆動装置	駆動方式 FF			
		変速機 — CVT 6MT			
環境性能情報	燃料消費率 <sup>*1</sup>	燃費(km/L) <sup>*2</sup>	24.2 15.7 15.3		
		市街地モード(WLTC-L)	21.7 11.1 11.3		
		郊外モード(WLTC-M)	27.6 16.4 15.6		
		高速道路モード(WLTC-H)	23.4 18.5 17.8		
		CO <sub>2</sub> 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	95.9 147.9 151.7		
		参考	2030年度燃費基準達成車 —		
	排出ガス	適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減	平成30年排出ガス基準50%低減	
		試験モード <sup>3</sup>	WLTCモード <sup>2</sup>		
		認定基準値 (単位:g/km)	CO	1.15	
			NMHC	0.025	0.05
NO <sub>x</sub>			0.013	0.025	
PM	0.005				
	参考	九都県市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)	—		
適合騒音規制レベル	平成28年騒音規制 規制値:加速走行69dB(A)	平成28年騒音規制 規制値:加速走行68dB(A)			
エアコン冷媒	種類/GWP値 <sup>*3</sup>	HFO-1234yf/1 <sup>*4</sup>			
	使用量	470g			
車室内VOC	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)				
環境負荷物質削減	鉛 <sup>*5</sup>	自工会2006年目標達成(1996年使用量 <sup>*6</sup> の1/10)			
	水銀 <sup>*7</sup>	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止 <sup>*8</sup> )			
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)			
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)			
	自工会目標適用除外部品	*5:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)			
環境への取り組み	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て		
		リサイクルし易い材料 <sup>*9</sup> を使用した部品	MAW、インナーウェザーストリップ、ウインドモール、ウォッシャーチューブ、オープニングトリム、ピラーガーニッシュなどの内外装部品		
		再生材を使用している部品	—		
		リサイクル可能率	車全体で95%以上 <sup>*10</sup>		
	環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品:電子基盤、電気部品のはんだ、圧電素子等(PZTセンサー)		
		水銀	全廃済み		
		六価クロム	—		
その他	カドミウム	—			
	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車	—		

\*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。  
 \*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。  
 \*3 GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数)  
 \*4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。  
 \*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。  
 \*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。  
 \*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。  
 \*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。  
 \*9 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。  
 ※ この環境仕様書は2024年9月現在のものです。